

2024年3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2023年8月3日



品川リフラクトリーズ株式会社

目次

1. 連結業績ハイライト
2. 営業利益（連結）の増減要因
3. セグメント別売上高及び営業利益
4. セグメント別概況 ①耐火物
5. セグメント別概況 ②断熱材
6. セグメント別概況 ③セラミックス
7. セグメント別概況 ④エンジニアリング
8. 2024年3月期の通期業績見通し
9. トピックス（株式分割）

1.連結業績ハイライト

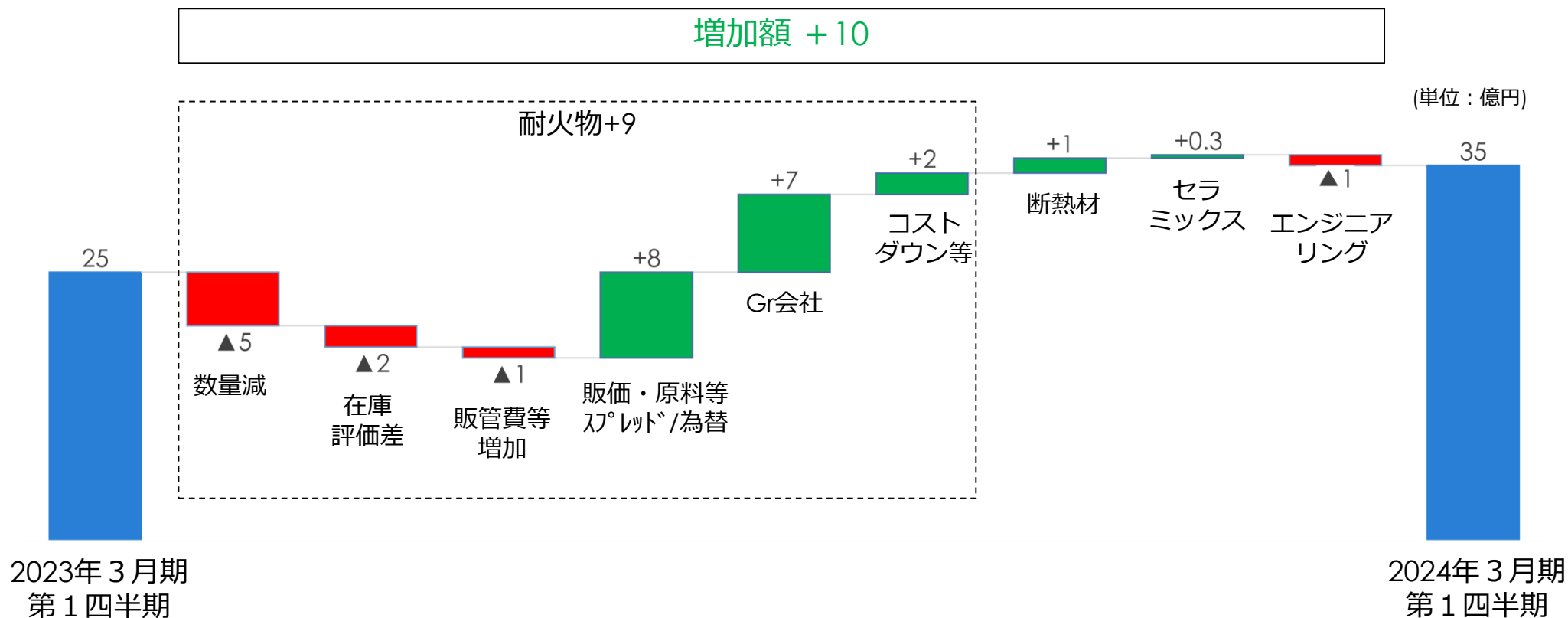
(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期実績	2024年3月期 第1四半期実績	前年同期比	
売上高	296	366	+70	(+23.6%)
営業利益	25	35	+10	(+40.7%)
経常利益	31	39	+8	(+27.4%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	19	69	+50	(+261.7%)
<指標> ROS（営業利益率）	8.6%	9.8%	-	(+1.2pt)

注：前年同期比は本表記上の数値ではなく、一の位までの実績値で計算しています。以下同様

- 2024年3月期 第1四半期 国内粗鋼生産量は前年同期比3.4%減の2,221万トン。
- 原燃料・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定を進めたこと、昨年を買収した海外事業の業績が寄与したこと等により、売上・利益共に第1四半期の過去最高を更新。
- 遊休資産（名古屋市港区）の売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は261.7%増。

2. 営業利益（連結）の増減要因



国内粗鋼生産量減少による耐火物数量減、在庫評価差等のマイナス影響に対し、販価・原料等スプレッドの確保/為替変動への対応、Gr会社では今期からのブラジル耐火物事業の業績寄与等により、前年同期比+10億円の増益。

3.セグメント別売上高及び営業利益

(単位：億円)

		2023年3月期 第1四半期実績	2024年3月期 第1四半期実績	前年同期比	
耐火物	売上高	192	256	+64	(+33.3%)
	営業利益	13	22	+9	(+71.3%)
断熱材	売上高	40	45	+4	(+11.6%)
	営業利益	6	8	+1	(+22.3%)
セラミックス	売上高	4	9	+4	(+83.9%)
	営業利益	0.2	0.5	+0.3	(+114.5%)
エンジニアリング	売上高	58	55	▲2	(▲4.9%)
	営業利益	3	2	▲1	(▲28.8%)
その他（不動産）	売上高	2	2	+0	(+0.9%)
	営業利益	1	1	▲0	(▲1.3%)
合計	売上高	296	366	+70	(+23.6%)
	営業利益	25	35	+10	(+40.7%)

注1：当期より報告セグメント区分を上記に変更しており、前年同期についてはセグメント区分変更後の数値に組み替えて比較しています

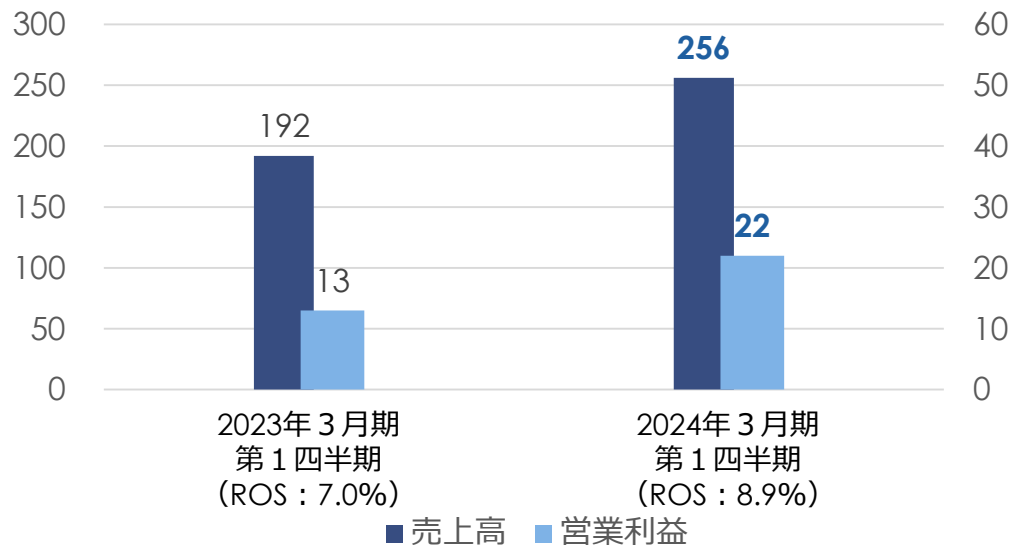
注2：合計額には、セグメント利益の調整額が含まれています

4.セグメント別概況 ①耐火物

業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	192	256	+64	(+33.3%)
営業利益	13	22	+9	(+71.3%)
ROS (営業利益率)	7.0%	8.9%	-	(+1.9Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

<第1四半期業績について>

- 原燃料・電力費の高騰を踏まえた販売価格の改定を実施。
- 昨年を買収したブラジルSRBの業績寄与。

<今後の課題>

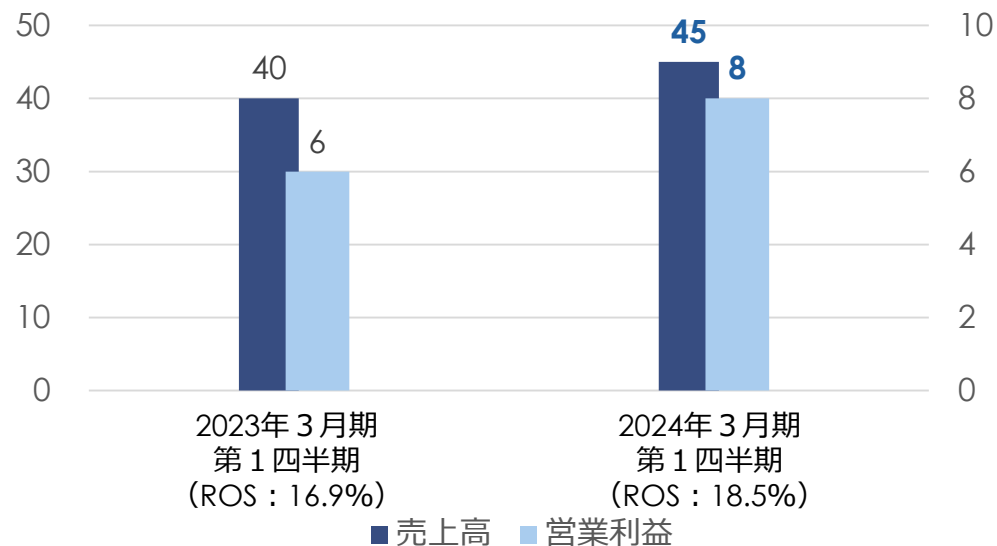
- 国内粗鋼生産量は漸減が見込まれる中、アルミ業界を始め、非鉄・工業炉向け製品の開発・拡販を強化。
- さらなる事業提携やM&Aによる海外ビジネスの強化・拡大。
- お客様のCO2排出量削減に寄与するため、使用後耐火物リサイクルや耐火物・断熱材・エンジニアリング技術を融合した熱ロス低減へのソリューション提供を強化。

5.セグメント別概況 ②断熱材

業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	40	45	+4	(+11.6%)
営業利益	6	8	+1	(+22.3%)
ROS (営業利益率)	16.9%	18.5%	-	(+1.6Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

<第1四半期業績について>

- 原燃料・電力費の高騰を踏まえ、販売価格の改定を実施。
- セラミックファイバー他、各種断熱製品を拡販。

<今後の課題>

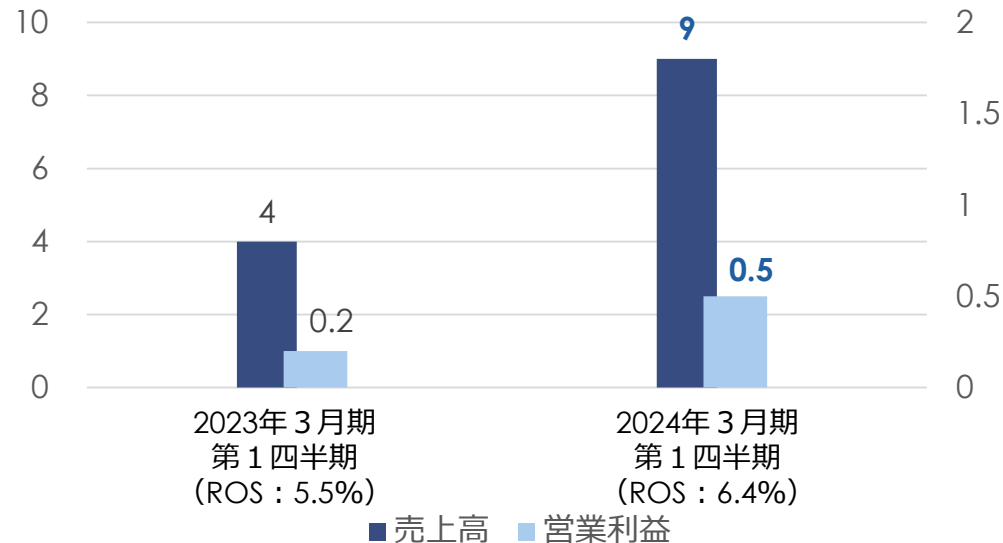
- コア事業である断熱材分野では、顧客満足度向上を意識したグループ内連携強化により、グローバル展開を加速化。
- 自動車・燃料電池用パーツ及び半導体・電子部品加熱用ツール等の新規成長事業分野への拡販。
- 高品質と高性能なオンリーワン商品の市場展開。

6.セグメント別概況 ③セラミックス

業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	4	9	+4	(+83.9%)
営業利益	0.2	0.5	+0.3	(+114.5%)
ROS (営業利益率)	5.5%	6.4%	-	(+0.9Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

<第1四半期業績について>

- 昨年を買収した米国SSCAの業績寄与。

<今後の課題>

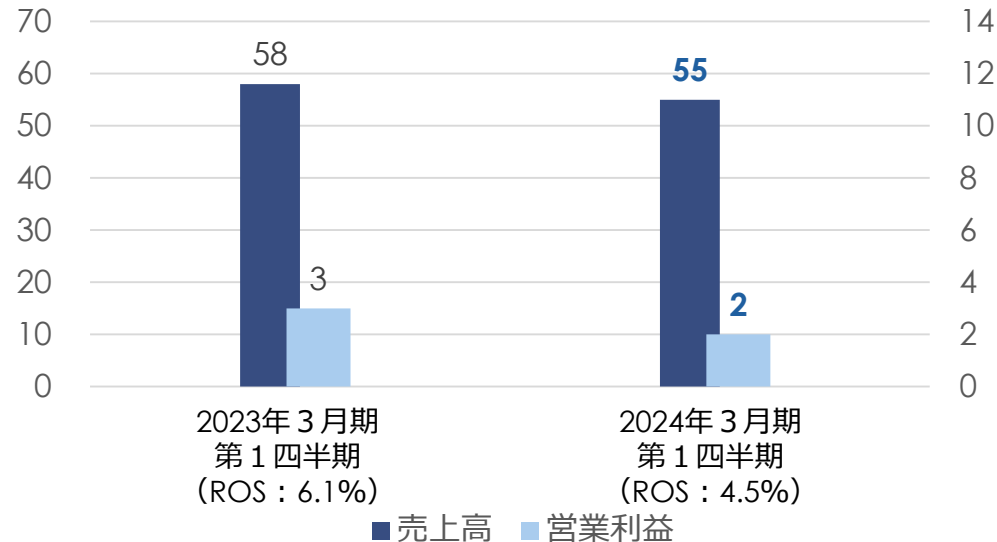
- 半導体製造装置や液晶製造装置分野などの既存市場の深耕。
- 新規3分野の市場（特殊蒸着材、大型ロール材、リチウムイオン電池分野）への参入と拡販。
- 製品ラインナップの拡充と高い品質管理による競争力強化。
- 外部技術の導入、M&A・事業提携等の組織強化による事業規模の拡大。

7.セグメント別概況 ④エンジニアリング

業績推移

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	58	55	▲2 (▲4.9%)
営業利益	3	2	▲1 (▲28.8%)
ROS (営業利益率)	6.1%	4.5%	- (▲1.6Pt)



「業績レビュー」と「今後の課題」

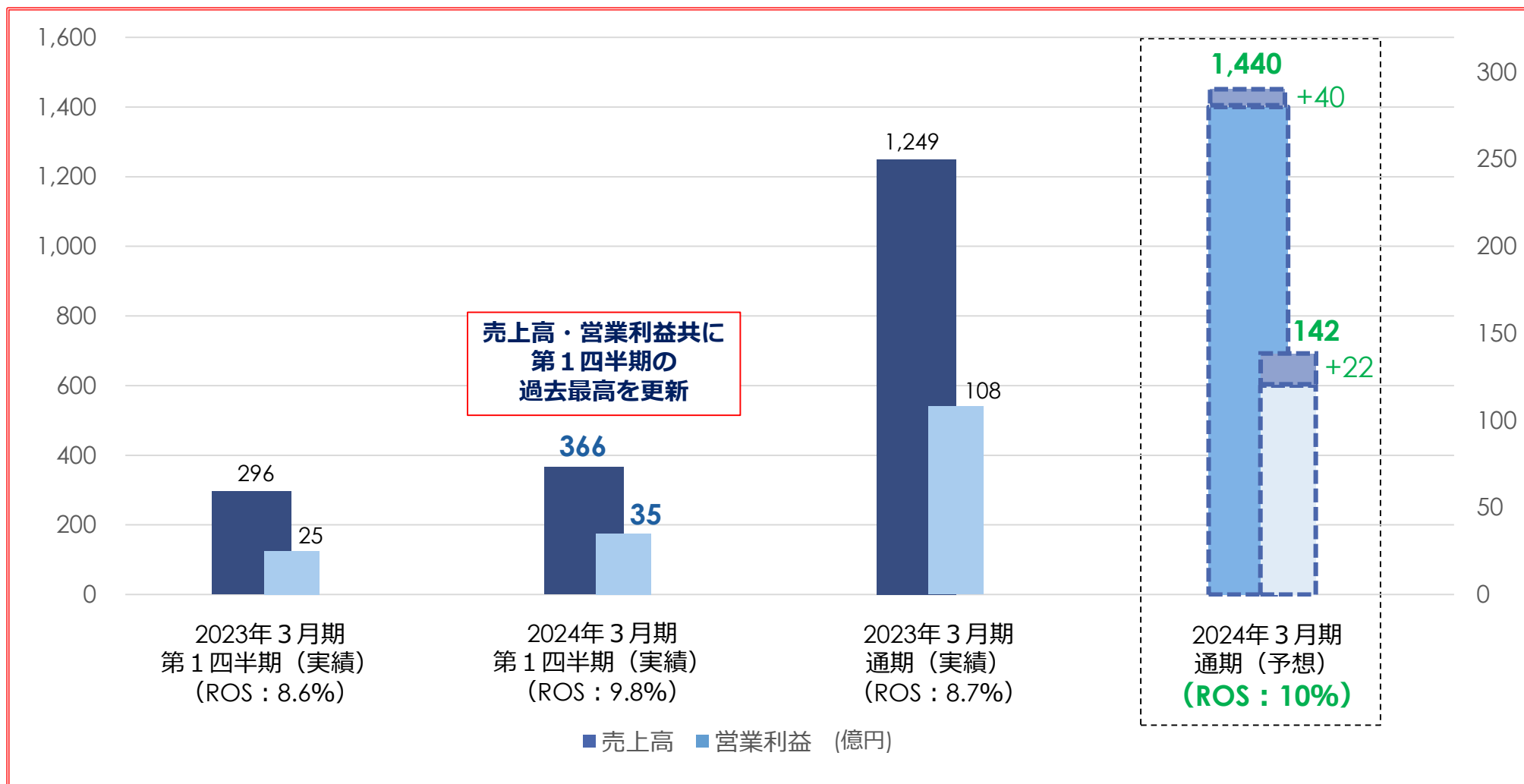
<第1四半期業績について>

- 製鉄所構内大型工事の減少等により減収・減益。

<今後の課題>

- 既存分野では、安全・品質・技術面においてお客様満足度を向上させ、継続的に大型案件を獲得。
- カーボンニュートラルに向けた各高温産業の省エネ化への対応及び耐火物リサイクル事業の拡大。
- DX化や機械化等の推進により、高度なエンジニアリング技術を提供。

8. 2024年3月期の通期業績見通し



9.トピックス（株式分割）

【実施内容】

当社株式に関して、1株を5株とする株式分割を実施することを取締役会にて決議

【目的】

投資単位を引き下げ、多くの投資家の皆様が投資しやすい環境を整えることで、株式流動性の向上と投資家層の拡大を推進

投資単位：644,000円（8月1日終値） ⇒ 128,800円へ

	分割前	分割後
発行済株式の総数	9,429,366株	47,146,830株
発行可能株式総数	37,700,000株	188,500,000株

【株式分割の日程】

基準日公告日：2023年9月11日（予定）

基準日：2023年9月30日

効力発生日：2023年10月1日

注：本内容は2023年8月3日に「株式の分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」として、東証に適時開示しております

ご注意

本資料は、2024年3月期第1四半期決算（2023年4月～2023年6月）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は、2023年8月3日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。